

新教育課程に向けた総合学習の教材及び教育内容に関する検討

—「キャリア教育」の課題をふまえて—

The Study on Teaching Materials and Educational Content for
Comprehensive Learning Time on the New Curriculum:
On the Basis of Issue of Career Education

加 藤 裕 明 荒 井 眞 一
KATO Hiroaki ARAI Shin-ichi

The purpose of this paper is to analyze concretely, reflectively about my own practice using teaching materials and educational content for comprehensive learning time on the new curriculum connecting issue of career education. On the basis of the result of this reflection of my own practice, there are three teacher's support for new comprehensive learning time uniting career education. First, teacher have to make teaching materials for students acquiring practical knowledge about labor. Second, teacher should enlighten students by question and answer for deep learning about social issue. Third, teacher should prompt them to expand learning by interviewing members of society and outputting their action to others.

はじめに

本稿の目的は、新学習指導要領にもとづく新しい教育課程をにらみ、高校における「総合的な学習の時間」（以下「総合学習」）の教材及び教育内容を、「キャリア教育」のあり方と結びつけ、具体的、反省的に検討することである。

学校教育における「キャリア教育」の問題点は、大きく次の三点を指摘できるだろう。すなわち、他の教育活動と結びつくことなく、若年者

を労働力（「人材」）に位置づけようとする矮小性，学校現場でしばしば使われる「やりたいことを見つけなさい」という言葉に代表される非現実性，そして「正規雇用」に「適応」させることを暗黙の前提とした反時代性である。¹

労働力の流動化が激しい現代は、「抛り所」としての安定した職場が失われ，子どもたちに限らず誰もが「働くこと」の意味を考えにくい時代である。² 厚労省の調査によれば，平成 7 年から現在まで新規大学卒業者で就職した者のうち，平均約 3 割が 3 年以内に離職する。規模の小さな 30 人から 99 人の事業所では 4 割にのぼる。³ また 2016 年の総務省の調査によれば，完全失業者のうち，「希望する種類・内容の仕事がない」とする者は，15～24 歳が 33.3%と最も高く，次いで 25～34 歳が 30.6%である。⁴ これは労働市場の構造的な問題であり，本人の「努力」でどうにかなる問題ではない。生徒に「自分のやりたいことを見つけなさい」という前に，現代社会が持つ問題に対する，より現実的な認識や，あるいは，自分が「働くこと」が，社会の中でどのような意味を持つのか，その社会的な意味を考えさせる活動が必要である。それらが前提にない「キャリア教育」は，生徒に幼稚な社会観を持たせたまま，労働市場へと送り出すことになってしまう。

新学習指導要領に向けた中央教育審議会（以下，中教審）の答申は，これまでの総合学習の「成果」を強調し，新教育課程に向けた更なる充実を求め，課題をあげている。特に高校に関しては，「自己のキャリア形成の方向性と関連付け」，「自ら問いを見いだし探究することのできる力」を育成することを強調する。⁵ そして，名称も「総合的な探究の時間」〔以下「総合探究」，傍点引用者〕と変更することを示唆している。また周知のように，昨（2017）年 3 月，文科省が公示した新学習指導要領（小中学校）は，「主体的・対話的で深い学び」を柱としている。学校教育における教師の役割は，授業の内容以上に，生徒が「どのように学ぶか」

というその方法、つまり「学び方を学ぶ」ことに力点が置かれている。従って、高校における総合学習も、「キャリア教育」を軸として、子どもたちに主体的、対話的な活動を通して探究させることを求めている。だが、「キャリア教育」に関しては、上記のような問題点に目配りしながら実施していかなければならない。新学習指導要領に向け、新しい総合学習の実践的蓄積とその検討が望まれる。

そこで、本稿では、2017年5月から10月にかけて、公立高校の3年生が取り組んだ「課題研究プレゼンテーション：進路を拓く」のうち、就職に関係する「公務員・芸術関係進路選択者」の活動に焦点をあてる。そして「キャリア教育」の問題点をもふまえた指導過程と、生徒たちの活動を明らかにし、新教育課程に向け「総合探究」のあり方を実践に則しながら具体的、反省的に検討する。

1 記録

2017年、高校3年生（7クラス）が取り組んだ総合学習「課題研究プレゼンテーション：進路を拓く」（以下、適宜「課題研究」）の指導過程を記述する上で、エスノグラフィー⁶ の手法にもとづき、各種のフィールドノート（教育実践現場における生徒自身による記録、レポート、教師による記録、メモ、配布資料等、様々な記録の総体）を資料として活用する。その記録群を**表1**にまとめて示す。

表1 「課題研究」の指導過程を示すにあたってふまえた記録

- | |
|---------------|
| 記録① 総合学習実践記録 |
| 記録② 生徒レポート集 |
| 記録③ プレゼン用ポスター |
| 記録④ 「いいね！シール」 |

記録①は、総合学習に関する筆者自身のメモを含めた記録の総体である。B5 版の大学ノートに記した授業記録の他、筆者が作成し、生徒に配布したワークシートに随時、その時間の筆者の発言や、生徒の活動の様子を中心にメモした雑多な記録の総体である。

記録②「生徒レポート集」は、生徒に記述させたレポートや文章の総称である。記録②のワークシートに記したものや、A4 版で学習の振り返りをまとめさせた文章も含まれる。

記録③「プレゼン用ポスター」は、生徒たちが調べた内容を、ポスターにまとめたものである。模造紙に色マジックを使い、プレゼン時に会場である体育館に掲示した。

記録④「いいね！シール」とは、プレゼンを視聴した 1, 2 年生及び他班の 3 年生が、良いと思ったプレゼンのポスターに貼った付箋のことである。そこに各自の短い感想が書かれている。

各記録からの引用に関しては、生徒にはレポート作成時、毎回、研究発表や論文等無記名かもしくは仮名で引用させてもらう旨の説明をし、承諾を得た。本稿では、引用に際し原則として【**記録①170508**】のように記録ナンバーとそれが記録された年月日を 6 桁（西暦年は下 2 ケタ）の数字にして示す。なお引用を筆者が補う場合には〔 〕で示す。

2 高校 3 年生 総合学習「課題研究プレゼンテーション:進路を拓く」 指導過程

2017 年度 3 年生の総合学習は、大きく二つの柱で構成された。ひとつは、新聞記事を読み、若年層が将来直面する社会、経済的な問題に関する基本的理解を目的としたプリント学習、もうひとつが各自の「進路を拓く」ことをテーマにした「課題研究プレゼンテーション」である。本稿では、後者の課題研究に関し筆者自身が担当した「公務員・芸術関係進路選択者」グループの取り組みを中心に述べる。

課題研究の主な流れは、以下のように大きく分けて5つの段階からなる。(1) 3年生全員が、自分の希望進路に別れグループを作る。(2) 班員同士で話し合いながら発表（プレゼン）するテーマを決める。(3) テーマを決めたら、各自調べる内容を分担し、調べる。(4) 調べた内容を各自持ち寄って、模造紙に清書する。(5) 下級生向けにプレゼンし、交流する。

筆者の担当した「公務員・芸術関係」グループは、一般事務職員、警察官への就職及び芸術関係の大学・専門学校を志望する生徒たちで構成されていた。選択者の概況は、表2の通りである。次に、

表2 3年総合学習：公務員・芸術関係進路選択者グループの概況（2017年度）			
班	男子	女子	計
A：公務員 1（一般事務職）	0	5	5
B：公務員 2（警察官）	1	2	3
C：芸術系 1（美術系進学）	3	0	3
D：芸術系 2（映画・演劇関係）	0	2	2
計	4	9	13

実際の指導過程（概要）を一覧にして表3に示す。左列の時間はおおよその目安である。

表3 総合学習「課題研究プレゼンテーション：進路を拓く」指導過程
概要一覧

時間	教師の指導計画	指導上のねらい等	生徒の活動の様子 班活動，教室の様子，文章 内容等
	課題 全体説明と 班編制	ねらい ・自分と同じ進路の方	体育館での生徒の様子 ・クラスを越えて進路の同じ者

2 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館で3年生全員を集め全体説明を行う。その後、教師側で編成したグループに分かれる。 ・各班で、自分の進路について知らないことを列挙させる。 	<p>向性を持つ者は誰か、通常のホームルームクラスを越えて互いに仲間の存在を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路について、よくわかっていないことは何か、仲間と対話する中で、浮き彫りにさせる。 	<p>同士がひとつのグループになることで照れくささ、緊張感、高揚感の入り交じった雰囲気になり全体が賑やかになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ編制では、体育館の床に座り、互いに簡単な挨拶を交わす。初対面の者もいれば、互いによく知る者もいる。〔記録①170508〕
2 時 間	<p>班活動1 課題</p> <p>テーマと各自の分担を話し合い決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ、それぞれ割り当てられた教室（公務員・芸術グループは視聴覚室）で活動する。 ・教材 1（ワークシート 1）配布。担当教師（加藤）が良いテーマ（タイトル）の例を紹介する。良いテーマとは、①一目で視聴者の興味を惹くことができるもの。②オリジナリティがあ 	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ班になった者と向かいあい、発表テーマと調べる分担を話し合わせる。 ・教師は机間指導をし、対話の中味や分担内容を確認する。テーマが漠然としたものにならないよう注意を促したり、生徒の質問に答えたりする。また、対話が停滞している班には教師が介入し、良いテーマの具体例を示唆しながら、テーマの焦点を絞らせる。 	<p>班活動での対話内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや停滞している班もある。月曜日の六時間目ということもあるのか、けだるい雰囲気を醸し出している班も中にはある。 ・だが、ぼそぼそしながら、対話が生まれてはいる。「警察学校って、何やるの?」「時間割、一応あるらしいよ。」 ・「公務員ってひたすらパソコンに向かっている印象あるよね」「そうそう」「でもさ、机に座っているばっかじゃないと思うし…」 ・「俺は、映画監督になるから。ネタならいくつでもあるか

	<p>るかどうか等を説明。その後、公務員・警察・芸術１，２の班に分かれ，班員同士で話し合わせる。</p>	<p>【記録①170529】</p>	<p>ら。」「俺は，役者になりたいと思ってる」「そういう，お前は？」「…」「だっせー」「なんですよ？」</p> <p>【記録①170529】</p>
2 時 間	<p>班活動２ 課題</p> <p>テーマ絞り込ませ，調査方法を吟味させる。</p> <p>・各班で話し合ったテーマと調査方法を提出させる。教師は，そのテーマが良いテーマかどうか，調べる方法が良いかどうか，吟味を促す。</p> <p>・各班でよく話し合わせテーマを絞り込ませる。</p> <p>【記録①170605】</p>	<p>ねらい</p> <p>・生徒のテーマはややもすると，「○○について」という，漠たるものになりがち。だが，発表する内容を明確にし，聴く者を惹きつけるため，テーマの絞り込みを意識させる。同時に，生徒自身が主体的に探究に向かい，思考を深めるよう促す。</p> <p>・調査方法は，SNSだけに頼ることを回避させる。情報の信認性を向上させることの重要性を認識させる。</p>	<p>班活動での対話内容</p> <p>・「全体のテーマどうする？」／「うーん…テーマを絞るってどういうこと？」／「じゃあさ，『どうして，警察官になろうと思ったのか。』は？」</p> <p>・「お前も少しは考えろ，タコ」／「うっせ！」</p> <p>・「テーマ…公務員試験について，っていうのじゃあいまいだね。」／「うん，あ，じゃあ，『公務員はデスクワークだけなのか？』っていうテーマはどう？」／「うん，いいかも」，「ウチ，知ってる人に訊いてみよ。」（教師「誰？」）</p> <p>「父の友人です。」【記録①170605】</p>
	<p>班活動３ 課題</p> <p>各自，調べる内容と方法を考え，文章に</p>	<p>ねらい</p> <p>・調べる前に各自文章にまとめさせること</p>	<p>ワークシートに記した生徒の文章（抜粋）</p> <p>・「油絵となると就職の道は狭</p>

2 時 間	<p>させる</p> <p>・教材 2（ワークシート 2）配布。テーマが決まった班から各自が調べる内容と方法について文章にまとめさせる。</p> <p>インタビューを行い自分の「足」で調べることが大切であると強調する。</p> <p>・良い調べ学習は、方法が優れていること、できるだけ多くの具体的な事例を集めることを強調する。</p>	<p>で、内容と調べる方法について自覚させる。</p> <p>自分の興味だけでなく、プレゼンをする相手（下級生＝1,2年生）にも興味を持ってもらえる内容になるか、一般的なパンフレットに載っているようなよくある内容になっていないかを吟味させる。</p> <p>・調べる具体的な方法について確認させる。</p>	<p>くなる一方。どのようにしたら職につくことができるのか。また、マイナーな職でも美大の経験を生かした職があれば紹介したい」（芸術系 1）</p> <p>「公務員の事務といえば、デスクワークがメインと思われるが、実際はそうではない。」（公務員 1）</p> <p>・「将来俳優を志すにあたって、俳優になる方法、なった後の仕事内容、その仕事を通して得られるものなどを中心に調べる」（芸術系 2）</p> <p>〔記録②170612〕</p>
2 時 間	<p>中間発表 課題</p> <p>各班、調べる内容と方法について中間発表する。</p> <p>・座席配置をコの字型にし、互いに向かい合う形にする。</p> <p>・自分の分担内容について発表させる。</p>	<p>ねらい</p> <p>・中間発表することで、自分の発表内容が、他者にきちんと伝わるのか、伝わらないとすれば何が足りないのかを確認させる。</p> <p>・質問を受け、発表の内容でボリュームアップ</p>	<p>中間発表の内容（抜粋）</p> <p>・「美大卒業後に職に就けるのか、というのが私たちの最大の関心。油絵なら 1 点の制作費が約 50 万円。非正規職ではやっていけない。美大卒業後の進路について、通っている塾の先生に聞き取りを行う予定。」（芸術</p>

	<p>聞く側には「質問カード」を持たせ、質問を考えさせながら傾聴を促す。</p> <p>・各班の発表の後、傾聴していた生徒に質問させる。</p>	<p>ブするところはどこなのかを明らかにする。</p> <p>・質問内容が妥当かどうか、足りない項目は何か、本当に知りたいことを引き出すことが出来る質問になっているかどうか、再度確認させる。</p>	<p>系 1)</p> <p>・「現在公務員の方の生の声を聞きたい。具体的には石狩市の 50 代課長職、道職員 20 代の 2 人に聞き取り調査をする予定」(公務員 1)</p> <p>・「札幌の演劇関係者にアポを取りインタビューする予定。」(芸術系 2)</p> <p>・「警察学校の 1 日の生活について、また警察の『特別任務』について知人にインタビューする予定。」(公務員 2: 警察官)</p> <p>〔記録②170619〕</p>
2 時 間	<p>班活動 4 課題</p> <p>取材を行い、自分のテーマに説得力を持たせよう！</p> <p>・教材 3 (ワークシート 3「取材カード」) を配布する。取材カードには、質問する相手、質問内容、質問方法 (取材かアンケート調査か) を記すように、空所が構</p>	<p>ねらい</p> <p>・調べる内容に関し、聴衆 (1, 2 年生) に興味を持ってもらうため、具体的なデータを集める大切さを認識する。</p> <p>・インタビューが実施できるように具体的な方法を、教材 3 (ワークシート 3) によって準備させ、身に付けさ</p>	<p>ワークシート 3 の記録内容 (抜粋)</p> <p>・取材相手: 美術系予備校教師 質問: 「美大卒業生で、いい就職先につける人の特徴は何か？」</p> <p>・取材相手: 公務員 50 代男性, 20 代男性 / 質問: 「これまで務めてきた部署の中で最もやりがいを感じた部署とその仕事内容は何か？」</p> <p>・取材相手: 道警職員 30 代男</p>

	成されている。	せる。	性 ／質問：「警察学校ではどんな勉強をするのか？」 ・取材相手：札幌在住の俳優／ 質問：「売れるまでどうやって生活したか？」 〔記録②170626〕
2 時 間	班活動 5 課題 調べた内容をまとめる。 ・最初はA3 用紙に下書きさせる。構成のメリハリ、わかりやすさなど、下書き段階で指摘する。 ・チェックを受けた班から、模造紙に清書する。	ねらい ・自分達で調べた内容を、発表できるよう、まずA3 用紙に下書きを書く。下書きすることで、自分達の発表・表現の未熟なところ、弱いところを自覚させる。	班活動の様子 ・各班、紙面の構成について話し合いながらまとめている。まずA3 用紙には、鉛筆書きで下書きし、その後、ポスターを作成するため、模造紙に色マジックを用いてまとめる。
2 時 間	全体発表 課題 ・1, 2 年生向けに、体育館でプレゼンテーションをさせる。 ・	ねらい 新学習指導要領を見据え、「整理・分析」「まとめ・表現」のうち特に後者に力点を置き取り組ませる。	生徒の発表の様子 ・後輩たちを自分たちのポスターの前に呼び込み、プレゼンする。楽しそうに一生懸命説明している。会場全体が大変な賑わいである。 〔記録①171023〕

1 時 間	反省用紙に反省を記入する。	約 16 時間にわたる 5 月からの活動について振り返り，反省点を考えさせる。	生徒の活動の様子 ・アンケートを書く。
-------------	---------------	---	-------------------------------

3 指導過程の検討

上記の指導過程一覧中に示した教材は，新学習指導要領の「総合的な探究の時間」を念頭に，生徒が仲間と共に系統的に探究していくことが出来るよう筆者が作成した活動・探究型教材（ワークシート）である。そこで，以下では，この教材による指導過程を軸に，総合学習の教育内容を検討する。

(1) テーマ設定：良いテーマとは何か？

当初，生徒たちが考えていたテーマは，公務員班（一般事務及び警察官）は，採用試験の内容や日程など募集要項を見ればわかるような内容だった。また芸術系の生徒は，著名な俳優のプロフィールをまとめるような内容を想定していた。共通することは，自分自身を見つめる姿勢が希薄だったことである。いや，本人達自身にすれば，いつも自分の心の中を見つめていたというかも知れない。だが少なくともそれを他者に表現することは出来てはいなかった。他者に伝わらなければ表現とは言わない。生徒には，この総合学習で，自分の思いを他者にきちんと伝える工夫をしてほしいと伝えた。加えて筆者は，高校卒業後，どのような社会が生徒を待ち受けているのかを想定しながらテーマを設定してもらいたいと考えた。そこで「良いテーマ」の例を，具体的に**教材 1**（ワークシート 1）に示すことにした。「給付型奨学金は大学生を救えるか？ーその種類，金額，人数（全国で何人くらいもらえるのか）から考えるー」／「ブラックバイトの実態に迫る！どんな会社が，どんなふうに学生を

こき使うのか?」/「どんな警察官がよい警察官といえるのか?」/「芸術は、社会のために役立つことができるのか?」といったように、各班を想定し、具体的にテーマを例示してみた。「自分の

やりたいこと」だけではない視点をもたせたい、特に若年労働力となる彼女彼等が、現代社会にどう巻き込まれていくのか、あるいはその職業の社会的意義や役割について探究させたいというねらいがあった。

公務員 1 (一般事務職) の班は、班の仲間と話し合い、一般的にデスクワークばかりと思われがちな公務員の仕事の中にも、そうではない職種や業務があることに焦点をあてるテーマとした (表 4)。感嘆符 (!) がたくさんついてることについて質問すると、話し合いでテーマが決まったときの盛り上がりを示すものだと言った。対話的な活動への意欲を感じさせた。**公務員 1** 班の生徒は、互いに HR のクラスは違ったものの、活発に対話を重ね、協同的な活動がよく出来ていた。**公務員**

総合学習 ワークシート1		課題研究プレゼンテーション	20170529
今日の活動			
①班長(責任者)、副班長(副責任者)を決める。			
班長は、各班の発表が素晴らしいようにリードする。そのためのテーマ・内容の最終決定権を持つ。また、役割分担、提出締め切り日等、班員に対して指示する。班員は、他の班よりも素晴らしい内容になるよう班長を支え、積極的に活動する。副班長は、班長をサポートする。			
②プレゼンのテーマ、役割分担内容を決める。(加藤がチェックしダメな場合はやり直し。)			
※良いテーマとは、一目で視聴者の興味を惹くことができるもの。また良い分担とは、そのテーマを考えるための複数の柱をきちんと立てていること。テーマと役割分担に関する中間発表会を6月19日に行い(配布済みのプリントで日程を確認すること)ます。その際、コンテスト形式で順位を発表します。自分の班のテーマと役割分担内容が、どれだけ素晴らしい内容であるかをアピールすること。他の班は容赦なく質問や意見、批判を行うこと。各班の投票により順位を決定します。その理由もコメントしてもらいます。他の班に負けたからといってひがみない、むねない、いじけない。あくまで内容で勝負!			
() 班	主な進路()		
テーマ			
メンバー	氏名	分担内容	
班長			
副班長			
班員			
班員			
良いテーマ例1	良いテーマはQの形にする。	給付型奨学金は大学生を救えるか?—その種類、金額、人数(全国で何人くらいもらえるのか)から考える—	
例2	ややセンセーショナルなタイトルにする。	ブラックバイトの実態に迫る!どんな会社が、どんなふうに学生をこき使うのか?	
例3	お金を稼ぐ以外の働く目的について検討し考える	警察官の仕事:どんな警察官がよい警察官なのか、現職警察官に直撃インタビューを試みました!	
例4	自分のやりたいこと、以外の理由を見つけられるか	芸術は、社会のために役立つことができるのか?自己満足ではないのか?	

②（警察官）の班は、「警察官になる動機」というシンプルなテーマではあるものの、高校卒業後に社会に出る生徒が、しばし立ち止まり自分を見つめることに焦点を絞った。

表 4 課題研究プレゼンテーションのテーマ

班	テーマ
A 公務員 1（一般事務職）	デスクワークだけじゃない!! 公務員事務の面白いところ!!!!!!
B 公務員 2（警察官）	警察官になる動機
C 芸術系 1（美術系進学）	美大卒業後の進路
D 芸術系 2（映画・演劇関係）	映画界について

芸術系 1（美術系進学）の最大の関心は、美大卒業後の進路である。美術系大学を卒業して果たして正規職につけるのか、という率直な問題意識からこのテーマは生まれた。非正規雇用が広がる日本社会の中で、生徒は美術系の仕事に就職することに大きな不安をもっている。その不安がまっすぐに伝わるテーマである。自分の志す美術に進みたいというアイデンティティに関わる動機と、しかし同時に経済的に自立を果たすことができるのかという社会的な視点と、両方の視点をもって自己実現を果たそうとする苦悩が垣間見える。テーマ自体は単純だが、その背景には経済的な自立の上に自己実現を目指そうとする問題意識が存在する。

最後の**芸術系 2**（映画・演劇関係）の班は結論から言えば、欠席も多く、正直、取り組みも不十分であったため、テーマの再考を促したものの、結局、「～について」という曖昧なものに終わってしまった。反省点である。だが、この班の生徒は、後述するが、映画俳優でもある地元札幌の演劇人に直接インタビューを申し込み、実施した。現在の「映画界」

でどのように生きていくのか,その現実的,具体的な回答を得たことで,結果的にはテーマの抽象性を回避することが出来た。〔以上記録②170529〕

(2) 内容と取材

調べた内容を最終的には模造紙にまとめるのだが,プレゼンのため,書き込む情報は,焦点を絞らなければならない。模造紙に書くことから出発すると,よく調べもせずに,書き込んで「やっつけ仕事」にしてしまう恐れがあった。そこで筆者は,模造紙にまとめる前の段階を重視することにした。すなわち,各班が調べる内容を,教材 2 (ワークシート 2) に,また調べる方法,特にインタビューの方法について教材 3 (ワークシート 3) にまとめさせることにした。

総合学習 ワークシート2 課題研究プレゼンテーション		20170612
今日の活動(各自課題)		
<p>課題 各自の分担内容について、記述する。☆分担内容について、その内容をなぜ調べようと思ったか。自分の興味だけでなく、それは1,2年生に本当に興味を持ってもらえる内容か？ 誰でも知っている内容ではないか？パンフレットを見れば載っているようなよくある内容になっていないか？自分の分担内容がどれほど興味深いものになるか、どうやって調べるか、について、文章で述べる。記号⇒や箇条書きは避けること。</p>		
3年 組 番 氏名		
() 班	主な進路()	
班のテーマ		
あなたの ☆分担内容		
<p>課題に対するあなたの説明(文章で述べること。記号⇒や箇条書きは避ける)</p>		

まずワークシート 2 に生徒が記した内容を、以下に紹介する。(下線部：加藤)

A班：公務員の仕事と言えばデスクワークがメインだと思われがちだが、実際はそうではない。例えば、ケースワーカーとして生活保護受給者の家庭を訪問したり、観光課としてイベントの運営をする等、実際に人と触れ合って進めていく仕事もある。他にも、電話を通じての地域の方々とのコミュニケーションをとることもある。**公務員 1 (一般公務員)**

B班：①高卒では生涯どれくらいの給料がもらえるのか。女性・男性（結婚・出産の退職なども含めて）何年間働くことができるのかを、インターネットやパンフレットにのっている体験談を参考にして書く。大卒ではどのように、どこまで昇級できるのか、高卒とのもらえる給料の違いや、男性・女性はどちらから卒業して警察に入った方がいいのかを本・パンフレット・インターネットを参考に書く。

〈調べる理由〉高卒でも警察に入れるのに、どうして大学に入ってから行く人もいるのか、どれだけいいのか、違いを知りたかったから。

②（警察・交通・安全・音楽など）各部署の主な仕事内容を全て書く。また各部署の市民との関わり方やニュースの事件でどの部署が関わったものかを何個か取り上げて書く。どっちの性別がどの部署に向いているのかを体験談を参考にして書く。

〈調べる理由〉今まで警察は1くくりで何でもすると思っていたが、部署があることを知り、どのように分担していて、どう国民と関わっているか知りたかったから。**公務員 2 (警察官)**

C班：・まず美大生が気になることは、入試の合格率の低さと就職率だと思います。〔特に私大では〕お金がかかるという問題はありますが、美大に行きたいという目的は変わりません。就職率だけでいうと、良くはないですが、何かに就くこ

とはできます。でも、それは絵を描いたり、絵を最大限に生かした職につけるか
という、あまりよい答えは出せません。まず第1に絵を描いて食べていけない
ということです。画材費や時間がかかることを考え、絵に値段をつけると何十万
になります。他の国に比べ、日本は、美術的関心が低い上、パトロンが最初から
つくことなどは滅多にありません。他のアルバイトを始めると作品制作の時間が
減ります。また、絵だけでたべていくことは難しくなります。学校より長い時間
過ごすことになる職場が自分の本当にやりたいものではないといけないと思いま
す。

第二に、就職先が少ないということです。デザイン系だと IT 系などさまざまな
起業^{〔ママ〕}から募集がくると思います。しかし少しきょう^{〔ママ〕}したりすればた
くさんあるから、自分から進んで職をずっと探し続ければ職は見つかります。な
のであきらめない心が大事だと思います。しかし油絵となると、その道は狭くな
る一方です。そのような点をふまえてどのようにしたら職に就くことができ、ま
たマイナーな職でも、自分の美大の経験を生かした職があれば紹介したい。 **芸術**

1 (美術系：C-1)

・美大卒業後で調べるとまず一番に出てくるのは、職に就けるのかということ
である。自分の絵だけで食べていけるのは、運と才能に恵まれたごく数%の人間
である。そして1つの作品をつくり上げるのに、大きなものだと50万ほどはかか
る。それで賞にかすりもしなかったらただ赤字なだけである。そんなことで
絵だけで生計を立てる人はいないのだ。2014年の美大卒の人の47%は就職してい
る。だが、この中でも美術に関連のある仕事に就職している人は、半分ほどしか
いないのだ。そして、進路全体の20%もの数の人が非正規雇用者である。昔に比
べると美術を活かせる時代に変化しているものの、実際は就職率や将来性はきび
しいのだ。日本は美術への関心が海外に比べると低いので、画家はもちろん就職
でさえ、普通の大学へ行くのとでは大違いである。夢をとるのか、現実をとるの
か、そこが美大を志望する上で一番慎重に見極めなくてはならないポイントであ
る。今、デザイン関連の会社が増えてきているので、就職は大丈夫では…と思う

かもしれないが、なる人が多すぎて需要がない。そして、定年まで働くことはむずかしい。というのも、年が上の人より若い人のほうが、新しいものを取り入れるスピードだったり、ざん新さも優れている。そしてしめ切りに追われる日々、残業の日々、スランプに苦しむ日々。そして低賃金。デザイン職は厳しいのだ。

芸術1（美術系：C-2）

D班：・将来俳優を志すにあたって、俳優になる方法、なった後の仕事内容、その仕事を通して得られるものなどを中心に調べる。例として現在活躍している俳優を挙げてみたりするとより良いかも知れない。ネットなどで調べるだけでなく、エッセイ集などを読んでその内容を元に自分なりの解釈を含めてまとめるとより興味を引きやすいと思う。**芸術2（映画・演劇関係：D-1）**

・私は映画監督をする上での必要な才能を、自分の持つ才能と比較しながら、業界の人々にインタビューしながら調べてゆきたいです。また、労働時間や、作品がヒットした時の可能性や、やりがいを中心に調べてゆこうと思う。**芸術2（映画・演劇関係D-2）**

〔以上、記録②170612〕

一般公務員を志望する**A班**は、「デスクワークだけじゃない!!公務員事務の面白いところ!!!!!!」をテーマにした。彼女たちは、この総合学習を開始する前までは、公務員の働き方と言えばデスクワークが中心であると考えていた。しかし、下線部に示されるように、活動を通して、彼女たちは、「実際に人と触れ合って進めていく仕事もある。他にも、電話を通じての地域の方々とのコミュニケーションをとることもある」と記した。公務員として「働くこと」の意味を問う根本的な問題関心を芽生えさせた。

この問題関心を、実際のインタビューを通じて探究させたいと考え、配布したのが**教材3**ワークシート3（「取材カード」）である。生徒が社会人に聞き取りをする際のインタビューの基本をふまえることができるようまとめたものである。このシートをまとめ、生徒たちは実際にイン

タビューを行った。

A班は、20代と50代の男性にインタビューすることにした。その質問内容は、【①務めてきた中で担当した部署は何か。②その中で最もやりがいを感じた部署とその仕事内容をくわしく。

C班のC-1さんは、美術大学を目指している。だが、彼女は、美大を卒業しても安定的な職に就くことが出来るのか、かなり難しいと考えている。その認識をより現実的にとらえているのがC-2さんである。彼女は、美大卒業後の就職は「非正規」「低賃金」が多く「厳しい」と結論付けている。これに対しC-1さんは、経済的な面での苦しさは重々承知の上だが、だからといってすぐにはあきらめず、美術と経済的生活の両立を追求しようとしている。そこで彼女は、現在通っている美術系予備校の教師に、これまでの卒業生の就職先についてインタビューすることにした。就職先の会社名、「良い就職先」につける人の特徴、無職者はいるかどうか、といった具体的な情報を得ることを目的としてインタビューを行った。

美術の二人とは対照的にD-1君は、「俳優になる方法」について調べるというレベルに留まり、現実認識には乏しい面がある。D-2君も同様である。そこで、筆者は実際に地元で活動するプロの俳優にインタビューするようアドバイスした。するとD-1君は、【①演劇に携わろうと思ったきっかけは何か。②最も印象に残っている出演作品は何か、またその理由。③芸能界で活躍するために不可欠な能力は何か。④売れるまでの収入源は何か？」「⑤あなたにとって演劇とは？」という質問項目を用意し、先方と約束を取りつけインタビューを行った。〔以上、記録②170626〕

(3) 発表：1，2年生へのポスタープレゼンテーション

テーマ設定と内容構成、及び夏休みを利用して行った調査（インタビュー等）結果をふまえ、夏休み明けから各班それぞれ模造紙に発表内容

まずA班は、現在交通企画課に勤務する 20 代の Y さん及び監査事務を担当する 50 代 K さんへのインタビューを行った。Y さんは、地域住民の安心安全、快適な暮らしを支えることを働くことの「やりがい」として感じていること、また K さんは国民健康保険課で勤務した経験から、療養費や助産、葬祭費の給付を行って、ひとりひとりの市民の人生の節目にふれ、その手

て仕事を通して、「多くの人と接し、コミュニケーションの大切さを学んだ」との回答を得た。そこから自分たちの考察として、「地域住民との活発なコミュニケーションを通して、公務員事務の仕事が行われている。仕事に対し誇りを持ち、何事にも代えがたい達成感と自分自身への成長へと繋がっているようだ。」とまとめる。公務員事務の仕事はデスクワークしかないのでは？という素朴な疑問から、地域社会との関係構築及び、住民との活発なコミュニケーションを必要とすることがわかった。そして仕事を通じて、人間的に成長することを知り、働くことの意味に対す



る理解を深めた。B班は、「警察官になる動機」について、インタビューした相手からもらった回答を模造紙にまとめた。20代男性は「人の役に立つ仕事がしたかったから。体を動かしたり，集団行動も好きで，警察にぴったりだと思ったから。」，73歳の元警察官は「当時警察の役割が重要で，私が日本の治安を守らなきゃと使命感に燃えていたから」と回答した。そして，自分達自身の志望理由をまとめた。B班の3人はそれぞれの理由について，「身内の事故から警察に対して疑問を持ち，自分ならこうしたいと考えるようになった。」【B-1さん】，「治安を守ることはすべての幸せにつながると思うから」【B-2さん】，「柔道を教えてくださった警察官〔警察学校〕の先生のようになりたいと思ったから」【B-3君】，と記した。

B-1さんは当初，ワークシート2に，どの部署がどのような形で社会と関わるのか，という視点をもっていた。これはおそらく彼女自身が警官になろうとする動機「身内の事故から警察に対して疑問を持ち，自分ならこうしたいと考えるようになった。」という思いから来ているものと考えられる。この点を引き出し，班内で対話させ，グループ全体でも議論したら，警察を例として，職業と社会との関わりについて，学びがより深まったのではないかと考える。指導上の反省点である。「美大卒業後の進路」をテーマにしたC班は，「その後の大まかな進路」として，「就職47%，非正規17%，進学10%，その他28%」というデータと，「職種別就職率」として「美術，写真，デザイナー等36%，販売職17%，事務職16%，教員6%等」というデータをそれぞれ円グラフにした。そして，更に具体的な職種について予備校の教師に質問した。すると，美大卒業者の進路は，大学教授，予備校講師，教師，人形作家，小説家，漫画家，イラストレーター，学芸員，漫画家，画廊を開く人，僧侶，主婦等，「本当に様々！」であることがわかった。そしてC班の生徒はそこから，「どうしてこのように美術以外の職につくのか？」と問いを発展させる。そ

の答えをインタビュー結果からまとめ、【①食べていけない②割に合わない③才能が無い④ちがう方面で活躍⑤商業目的とは別で描きたい⑥自分で描くより教えた方が即収入になる】、と6つに分類した。結論として、①から③に該当する人は、「将来性や大学入学後の資金などを考えた結果、正直好きなことだけでは生きていけないと思い、進路変更をしました。このように進路を変更し大人になってからやりたいことをやるというのは全然あります。」④から⑥に該当する人は、「今まで絵画をやってきたため、後戻りが出来なくなり覚悟を決め、この道で生きていく決心をしました。」とまとめた。C班二人の生徒は、この分類通り、一人は美大進学から別の分野の専門学校へと進路を変更した。もう一人は美大進学志望を変えてはいない。どちらにしても、将来「自分がやりたいこと」を追求する方法は、現代日本社会においては、経済的基盤の確立を含め簡単ではないが、しかし多様にある、という現実認識を持つに至った。

D班は、「映画界について」という曖昧なテーマではあるものの、前述したように、地元札幌の演劇人S氏（50代男性）に直接インタビューを申し込み、現代の「映画界」に関する具体的な回答を得た。S氏の回答は、概要以下のようなものだった。「[役者という仕事において最も大切なことは] 技術的な面はもちろん、様々なものになりきりリアリティを出さなければならないので、外に出て多くのことに目を向け体験することである。」「[演劇に関わろうと思ったきっかけは] 大学時代に演劇研究会に入ったことがはじまり。当初は科学者を志していたが、演技をしたり脚本を書いたりする楽しさが勝り路線変更」をした。「[かけ出しだった頃にやっていたバイトは] 早朝の新聞配達と居酒屋のバイト。親の仕送りもあまり多いわけではなくギリギリの生活だった」。[記録②170828]

ポスター左側にはさらに、「役者一本で生きていける人はほんの一握りである」こと、「その一握りに入るために世の中のあらゆる物事に触れ、考え、理解しなければならない」「不安定を乗り越える覚悟を持たなければ

ば役者として生きることは不可能」といった言葉も引用されている。インタビュー結果の他、ポスター右側には、「映画監督の収入」として、個人で制作し失敗した場合として、石井竜也の「河童」が10億円、さだまさしの「長江」が35億円の「赤字」となったという記述が見える。

【芸術系2】の男子3名のうち、ふたりは芸術系大学を志望し、ひとりとは東京の舞台系専門学校を志望している。「映画界」は、厳しく「不安定」な世界であるとは記し、語りはするものの、では実際に自分がその「不安定」な世界をどのように乗り越えていくかといった透徹した意識や具体的ビジョンは希薄である。その点で、芸術系2（美大進学志望）の生徒の意識とは差がある。「自分のやりたいことを見つけなさい」という言葉をかけるまでもなく、「夢」を持っているこのような生徒には、有名な芸能人ではなく、より等身大の芸術家の生活のありようを認識させる「キャリア教育」が必要である。その点で地元の俳優にインタビューしたことは意味の無いことではない。が、収入の極めて不安定な芸能関係への志望に関し、インタビュー対象者がたった一人では少なすぎる。地元にはこの生徒とおなじような思いを抱える若者が多く存在する。生徒に近い若年層により多く取材できたならば、上記のような非等身大のポスターにはならなかったであろう。指導上の反省点である。

むすび：考察と課題

以上、総合学習「課題研究プレゼンテーション：進路を拓く」の指導過程を検討して来た。検討の結果、その課題を以下三点にまとめて述べる。

第一、新学習指導要領の「総合探究」に向け、従来の「キャリア教育」の問題点をふまえ、労働に関する現実的な認識や「働くこと」の社会的な意味について探究できるような自主教材（ワークシート）を作成してきた。インタビューの実施によって、その職業及び労働を具体的に考え

る活動が出来た。ポスターに貼られた色とりどりの付箋（通称「いいね！シール」）には、参加した1，2年生及び他班の3年生の感想が記されている。「実際に公務員の話聞いてまとめたので，どんな人が向いているのか，やりがいを感じているのかに説得力があった。」「実際に就職した人のコメントがとてもためになる。」など，33枚中15枚がインタビューに関する評価だったことに，それは示されている（【公務員1：一般事務系】）〔記録④171023〕。⁷

だが，現代社会が持つ現実的な問題にどう対処するのか，非正規雇用になった場合，どのように生活していくのかといった，社会への批判的な見方や具体的な行動の仕方に関する認識はまだまだ不十分である。⁸

第二，高校の新学習指導要領に記される「総合探究」は，伝統的な一斉講義方式の定着した他の普通教科とは異なり，ある意味「主体的・対話的で深い学び」



【プレゼン当日の体育館の様子】

によって進めやすい。

だが，「主体的・対話

的」とは教師の放任による生徒の「おしゃべり」によるものではない。そこにはあくまで「深い学び」（探究）が成立するような，教師の発問や応答の介入が必要である。今回の「課題研究」の指導過程では，活動・探究型教材（ワークシート）の作成を行い，生徒も積極的に活用した。だが，班ごとの個別探究だけでなく，グループ全体でも現代社会の問題に対する議論を行っておいたならば，プレゼンをどうするかにかかりき

りになるのではなく、全体でも認識を深めることができたと考える。

第三、コメントの有無や質はともかく、1, 2 年生の反応も加わって、活動開始当初は、面倒くさいものにとらえていた3年生も、発表当日は、大変張りきっている様子が見て取れた。自分の中だけで学習するのではなく、学校の外に出て、社会人に取材し、他者とりわけ後に続く下級生に伝え、表現（アウトプット）するという拡張的な学習が、生徒の能動性を引きだしたと考えられる。⁹ 21 世紀に求められる学習のあり方として、協同的な活動がそのグループ内において更なる新しい活動を生んでいくような、より高次の学習が求められている。今回の課題研究プレゼンテーションには、そのような活動の萌芽が埋め込まれている。自分が働くことと他者との関係性が見えなくなった現代において、生徒たちが一人の市民として社会と関わりを持ち、民主的な社会の形成者として自己実現を図るために活動的なこと、そのような姿勢を涵養する「総合探究」のあり方を今後も開発していきたい。

注

-
- ¹ 児美川孝一郎 (2013)『キャリア教育のウソ』筑摩書房, pp.44-46, 72-75, 140-144.
 - ² 山崎憲 (2013)『「働くこと」を問い直す』岩波書店, pp.48-49.
 - ³ 厚生労働省 (2016)「新規学卒者の離職状況 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/bunya/0000137940.html (2018 年 1 月 30 日閲覧確認。)
 - ⁴ 総務省 (2017)「労働力調査」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/dt/pdf/ndtindex.pdf> (2018 年 1 月 30 日閲覧確認)
 - ⁵ 2016 年 12 月 21 日、中央教育審議会答申 (以下「中教審答申」)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」p.236.
 - ⁶ 「民族誌的調査」と訳される。佐藤郁哉、『フィールドワークの技法』(新曜社, 2002), p. 10.
 - ⁷ インタビューに関する「評価」は、【公務員 2 (警察官)】が 92 枚中 5 枚、【芸術 1 (映画・演劇関係)】が 70 枚中 5 枚、【芸術 2 (美大進学系)】が 64 枚中 2 枚だった。「いいね! シール」の総枚数は、その班のメンバーの友だちの多寡にも左右されるので、それだけで良いプレゼンがどうかは判断できない。例えば警察官の班は、92 枚も集めているのに、コメントが記されていないままシールだけ貼られているものが 28 枚あった。これに対し、公務員 1 へのシールは少ないが、インタビューへの

評価も含め、コメントの質が最も高い班であった。

⁸ その原因はそもそも「キャリア教育」の中にある。森岡は、「キャリア教育」が、小学校段階から児童・生徒を周囲に「適応」させる論理で貫いていることを指摘している。その一方で理不尽な社会や職場環境に「抵抗」すること及びその方法（例えば、労働基準法を理解し、労働組合を活用すること）については全く触れないことを指摘している。森岡孝二（2011）『就職とは何かー〈まともな働き方〉の条件ー』岩波書店, pp.153-155.

⁹ ここで言う「拡張的な学習」とは、エンゲストロームの学習論に学んだものである。彼によれば学習活動とは、「いくつかの行為群からひとつのあらたな活動への拡張を習得することである」とする。この総合学習も、プレゼンテーションを経る中で、さらに新たな活動を生み出すような活動になると、より拡張的な学習に近づいていくことが出来るものとする。エンゲストローム Y.（山住勝広，松下佳代，百花草禎二，保坂裕子，庄井良信，手取義宏，高橋登訳）〈1987〉『拡張による学習活動理論からのアプローチ』新曜社, p. 141.

（かとう ひろあき，北海道札幌平岸高等学校教諭）

（あらい しんいち，札幌大谷大学社会学部准教授）